

平成18年度水引中校区ふれあい市民会議

答 弁 要 旨

と き 平成18年5月26日（金）14：00～17：00

ところ 水引地区コミュニティセンター

出席者 市：市長，

総務部長，企画政策部長，産業経済部長，建設部長，教育部長，
危機管理監，市政広報官，学校教育長
コミュニティ課長，広報室長

県議：福山秀光議員

市議：乙須紀文議員，石野田浩議員

地域：水引地区コミュニティ協議会長，各自治会長をはじめとする
地区住民約70名

議題1 （川底自治会）

市道川底乙須線の側溝の設置と危険箇所等の整備について

市道川底乙須線は曲がり角等があり，大雨が降ると路面上に水が流れ危ない。また，後下橋と接続している道がS字型となっており危険である。側溝の設置と，カーブカット等危険箇所の整備を要望する。

【建設部長】

国道3号への取付部の拡幅・横断暗渠の改修・側溝の設置が2箇所・カーブカット（視距改良）が2箇所・後下橋付近のS字についてのご要望がある。

この路線の要望箇所については，危険性及び緊急性を考慮しながら予算の範囲内で実施していきたい。

質 疑 （川底自治会長）

後下橋は造られた当時，あの形でないと架けられないとのことであった。形状が危険で冬になれば特に滑る。下の部分を継ぎ足して三角にする等対策を講じてほしい。

【建設部長】

橋の拡幅には経費もかかる。橋の近くの農地をご相談させていただければ，線形改善できるのではないかと思うが，私有地なのですぐには無理。出来ることから改善したい。

【市長】

私の家の近くにも同じような橋がある。90度くらい曲がっている。通る度になぜこんな形をしているのかと思う。作られた当時は大型車の通行は想定していなかった。

似たような橋は数多く、将来は架け替えが必要だが、視距改良・スピードを抑える看板の設置からやらなければいけない。年次計画を立て改良していかななくてはいけない。

**議題2 (草道公民館)
市道草道～椎原線について**

市道草道椎原線においては見通しの悪いカーブが多く、過去に死亡事故・横転事故が発生している。この道路が通学路であることを鑑み、平成17年10月28日に「市道草道～椎原線の視距改良についての要望書」を提出したが、進捗状況を伺いたい。

【建設部長】

要望書の提出に伴い、現地を調査し平成17年度に測量設計を行った。

本年度中に視距改良工事を計画しており、自治会長と話をしている。道路拡幅に伴い一部用地を購入する必要があるため、皆様方の御協力をお願いしたい。

**質 疑 (草道公民館長)
用地買収には積極的に協力する。出来るだけ早い着工をお願いする。**

【市長】

用地買収が済んだら、早い時期の着工をお約束したい。

**議題3 (草道公民館)
水引中央団地の浄化槽について**

水引中央団地の排水は1日50トン、1年間に1万8千トンに及ぶ。この排水は小原田川に注ぎ、農業振興地域の用水として使われている。水引中央団地の住環境の整備と湯島町農業振興地域の衛生的観点から合併浄化槽の設置を要望する。

【建設部長】

平成17年度に市営住宅ストック総合活用計画を策定し、すべての市営住宅の今後の活用方針を定めている。

草道下住宅は個別改善（トイレ水洗化）の判定を行った。実施年度は、今後検討する。

質 疑 （草道公民館長）

原田川は昔はきれいだったが、今はそうではない。きれいな水でなければおいしいお米はできない。将来に農業経営を繋ぐため、浄化槽の設置をお願いします。

【市長】

水引中央団地も平成19～20年度には浄化槽を設置したい。また、地域の各家庭には数件で使える合併浄化槽の設置をお願いしたい。設置費用は90万円くらいかかるが、国、県、市から10万円ずつ補助が出る。

おっしゃるとおりきれいな水でなければおいしいお米はできない。64ヘクタールのほ助整備が有効活用できるように前向きに取り組む。

議題4 （浜田公民館）

大迫線～湯原線について

大迫線～湯原線が途中狭くなっており、すれ違い時危険である。一部は農道になっているので、市道に変更後、危険箇所については拡幅を要望したい。

【産業経済部長】

ほ場整備事業の際、市道を廃止し農道として整備し舗装済みとなっている。

現在も水田地帯の農道として有効利用されており、農道のまま維持管理する。

また、農道区間の一部（県道暗渠部付近）が狭く、危険だとのことで現地を調査した。

排水路に蓋を設置した農道の個所が少し狭いので、土地所有者等を調査し協力を得て、蓋を設置する方向で検討する。

【建設部長】

地元の皆様と協議の上、部分的に拡幅し、離合箇所を確保したい。

また視距改良箇所は、他の地域との調整を計りながら検討する。

質 疑 （浜田公民館長）

平成5年、平成15年にも要望した。接触事故が多発している。駐車場に退避して事故を防いでいる。地権者の同意は得ているので、人身事故が発生する前に拡幅いただきたい。また橋が狭く脱輪が発生したり、湯原の市道に離合するところが90度のカーブになっており危ないので、改善したほうが良いのではないかと。

【市長】

昔は1校区1カ所ずつであったので遅くなったが危険箇所は視距改良等しなくてはならないだろうということになった、交通量を見て見通しの悪いところ、あるいは側溝の蓋で解決できるところからしていく。

議題5 (浜田公民館)

浜田集会所(消防車庫)の改修について

浜田集会所は一階和室会議室が狭く、また消防車庫が使われていない。今後の活動を考え、スペースを有効利用するため消防車庫部分を改装し、会議室を広くしてほしい。

【企画政策部長】

高齢化に伴う利便性の必要性、消防車庫部分の有効活用は理解できる。

本市内には集会所が40施設あり、限られた予算の中、緊急性を要するものから、補修工事等を行っている。

本集会所は、電源立地促進対策交付金制度による国の補助を受け建設・整備したものであるため、構造及び用途の変更については、法律上の規制や手続きが必要となる。

強い要望として真摯に受け止め、改修が可能であるかの検討と調整を図りたい。

質 疑 (浜田公民館長)

前日も要望した。65歳以上が48%を占めるため、2階で会議を開くが、2階に上がれない、トイレが1階にある等の理由で出席率が悪く、閉会になることもある。

【市長】

電源交付金制度で作られた公民館であり、国も躊躇していたが、改革の流れで規制緩和になってきた。改修の方向でもっていきたい。国との協議が済んだら来年度にも予算措置ができないか、電源交付金でできないか、検討していきたい。

議題6 (湯島町公民館)

川内港金網スペース内の出入許可について

川内港の荷役岸壁はテロ対策として金網が設置され釣り人の出入は許可されていない。金網設置前は活気のある港であったが、今はその面影はなく釣り人も数人である。

このため、平成16年12月県に「川内港金網(鉄さく)開放依頼の件」と題して要望書を提出しており、近日中にも具体的方法を提案し再度要望する。

川内港を活かすため、釣人は欠かせないので、市も本件の後押しをお願いしたい。
なお志布志港は、船の出入りのないときは開放していることを申し添える。

【産業経済部長】

平成13年9月11日の米国同時多発テロ以降、テロ対策が世界各国にとって重要問題となり、海上輸送の分野では、各国が協調して保安対策を行わなければ十分な効果は上げられないため、国際条約（ソーラス条約）によって港や船の保安対策を平成16年7月1日からさらに強化することになり、港と船舶の保安対策が義務付けられた。

これまで利便性の良い釣り場であったが、法律に基づくものであり、人命の安全対策とコンテナ貨物も24時間の監視体制も必要であるため、ご理解いただきたい。

なお志布志港は、旅客船ふ頭1カ所を開放している。このふ頭は不定期旅客船が年に4、5回寄港するだけしか利用されておらず、ふ頭に併設して親水緑地を整備しているため開放し、外航旅客船入港の時のみ立ち入りを制限しているとのことである。

谷山港は川内港と同じく、立ち入りを禁止している。

質 疑 （湯島町公民館長）

現場を見たが、1日200本もコンテナが入り難しいかなと思う。釣り人のために棧橋を作ってほしい。

【市長】

将来は可能ではないかと思う。議会でも提案があるが、棧橋は台風のとき壊れるのが難点。入り江のような地形があるといいが、唐浜はどうだろうか。観光や釣り人の増加を考えると検討課題である。

議題7 （湯島町公民館）

防犯用街灯の増設について

湯島町～水引小学校通学路の街灯が少なく、夜道が暗い。部活帰りの児童、生徒の安全が確保できない恐れがあるので、防犯上の観点から街灯の増設を強く要望したい。

【企画政策部長】

現在、市道「草道・平島線」には7基の防犯灯が設置されている。

防犯灯間が離れている箇所は、十分な照度が確保されていないと考えている。

このような状況から、犯罪や事故をなくし明るい社会環境づくりを促進するため、自治会や地区コミュニティ協議会等を対象に防犯灯の設置費補助金制度を設けている。

申請いただければ、予算の範囲内で補助金を交付するので、活用いただきたい。

また、昨年安全・安心まちづくり条例を施行し、青色回転灯装着車を13台配備し、公用車に防犯パトロール中のマグネットシートを貼り、防犯パトロールを実施している。

現在、安全・安心まちづくりを推進するため、市で防犯用品を購入し、防犯パトロールを推進される地区コミュニティ協議会等に貸与する計画を進めている。

自らの安全は自らが守るという意識で、地区コミュニティ協議会が中心となり、各種団体と連携・協力され、安全で安心して暮らせるまちづくりの推進をお願いする。

【教育部長】

各学校には、4つの重点事項を指導している。学校行事の不審者対応訓練や交通教室の充実、複数での登下校の指導とともに、一人の場合は危険箇所を把握し具体的な指導、日没を考慮し安全な登下校ができるよう部活動の終了時刻の厳守、関係機関との連携とともに、地域の方々の協力による登下校時の立哨指導や青色回転灯装着車のパトロールの強化。

毎日安心して登下校できるよう、防犯ブザーを新1年生に配付し、安全対策を図った。

水引中校区においては、水引地区防災・防犯交通部会が結成され、児童生徒の安全な登下校に献身的な御協力をいただき、感謝申し上げます。

今後も、4つの重点事項を学校へ継続的に指導し、警察等の関係機関・地区コミュニティ協議会・地域のボランティア団体等の関係団体と学校・家庭が一体となった防犯活動をさらに進め、地域全体で児童生徒の安全を見守っていく体制づくりに努める。

議題8 (湯島町公民館)

原田川(県営2級河川)の浚渫事業について

原田川は水草繁茂で河川と言うより溝川と言ったほうがふさわしい。用水として使いくく、魚しょうとしての自然環境もない。毎年の浚渫作業を要望する。

【建設部長】

下流部の湯島排水機場付近から国道3号線までの約3kmを川内土木事務所と調査した。水藻やガマ草等が繁茂しているが、寄洲は河積を妨げるほど堆積していなかった。

当該河川は勾配が緩やかな上、農業用水取水のための井堰が数箇所あり、ほとんど流速がない。この条件が、水草の繁殖する要因とも考えている。

県としては、限られた河川維持費の中防災的に危険性の高い箇所から優先的に寄洲除去や伐採作業を実施しており、原田川も他河川との調整を図りながら実施していくことと、水生動植物の生態系は、現状のままが理想的な条件に近い状況であるとの回答であ

ったが、市としては、水引地区の網津川・小倉川及び草道川についても原田川と同様な状況であるので、土砂堆積の状況や雑草の繁茂状況等を把握しながら、防災的な優先度を考慮し、年次的な浚渫や伐採を県に要望していく。

質 疑 （湯島町公民館長）

藻がなくなると貯水は倍になり、渇水対策にもなる。10年前は3分の1くらいであった。上流から100～200メートルずつやれば数年で良くなるのではないか。また、冬の間井堰を上げ塩水を入れて藻を枯らすのはどうか。

【市長】

県に説明し、お願いしていきたい。水害対策の面からも対応していただきたい。海水を入れると稲が駄目になる。

議題9 （網津町公民館）

国道3号線網津町信号から宮上橋間の道路拡幅について

宮上橋は出来て3年がたち交通量も増えたが、網津踏切及び踏切から3号線に渡り道路が依然狭い。この道路の拡幅について、土地所有者との土地買収協議の進行具合と、拡幅工事实現の見込みについてその時期も含め回答いただきたい。

【建設部長】

市内に37箇所ある踏切の拡幅改良は、優先順位を付けて整備している。

網津踏切も拡幅改良が必要な踏切と位置付けているが、当面は上川内町の本城踏切を整備するとしており、網津踏切は本城踏切の整備後である。

しかし、踏切の拡幅改良には鉄道事業者や接続する道路管理者との協議に時間を要すること、さらに多額の経費がかかるため、整備が進まない現状である。

なお、おれんじ鉄道とは概略的な事前協議を行っている。

JRからおれんじ鉄道に変わったが、踏切拡幅等の基準的な厳しさは差がない。

質 疑 （網津町公民館長）

JRのときはなかなか難しく、おれんじ鉄道になり期待したが、厳しさに差がないと回答された。踏切の拡幅改良ができるのかできないのか、いつごろか言ってほしい。

【市長】

回答の通り、交通量の多い上川内からする。おれんじ鉄道は財政が弱く難しいが、出

来るだけ早く改良したい。おれんじ鉄道の取締役会が7月にあるので、いつごろになるか話を聞いてみる。

議題10 (水引地区コミュニティ協議会)
水引小学校下の踏切について

水引小学校下の踏切近くに歩道橋ができ歩行者の安全は確保されたが、3号線交差点近くの踏切は依然狭く、車両の通行に不便し、また渋滞時は大変危険となる。危険を解消する為にも拡幅していただきたい。

【建設部長】

学校下踏切は、鉄道と国道3号の両方を跨る歩道橋をH14年度に整備した。このため、児童が踏切を渡らずとも安全に通学できるようになった。

さらに、周辺の状況は変化しており、ふるさと農道の利用者が増えている。さらには、JR九州からおれんじ鉄道となり、列車の通過本数が減り、通過速度も遅くなった。

踏切の幅が5.5m程度と車の離合に不便なこと、国道が渋滞することもあり不自由な状況にはあるが、市内には踏切の拡幅改良が必要な踏切は多数有り、当面拡幅する考えにないことをご理解願いたい。

質 疑 (水引地区コミュニティ協議会長)

踏切の拡幅については、先ほどの回答であきらめた。コミセンの代表になり、信号の時差的なものにより車両の交差が危ない。また、電柱が信号の邪魔になっている。

【建設部長】

信号については公安委員会の管轄である。該当の信号は感應式になっているが、川内警察署の交通課を通してあげたい。信号の見にくさについても交通課を通したい。

質 疑

導流堤が大変痛んでいる。改良する予定はないか

【建設部長】

調べる必要があるが、河川サイドで作ったもの。調査した上で所管に伝えたい。

質 疑

海水浴場の看板が国道の2メートル手前に設置してある。高さが軽トラ、自動車が先頭車両のとき、見えにくい。高さをあげるか、鉄道側に下げてください。

国際交流センターで行われた自治会長研修会で冊子もらったが、去年頂いたので変更がない場合は前年のを使うようにすれば良いのではないかと。

構造改善事業は1番最初に実施していただいたが、底が4センチしかない。最低でも30～40センチないといけないのではないかと。

【市長】

看板については改善したい。

自治会の冊子については去年ので使えるようであれば使うように職員に徹底したい。

構造改善事業については施工のやり方が問題だったのではないかと、耕地課に調査をさせたい。

質 疑

保健センターの看板が小さくて見づらい。

【総務部長】

県道川内串木野線になるので県土木、警察と協議して案内板を協議したい。

立て看板の設置等、見やすい表示を検討したい。